

京都大学大学院文学研究科・文学部 公開シンポジウム

# 近代日本における学術と 芸術の邂逅

## —ヘディンのチベット探検と京都帝国大学訪問—

池田 巧  
(人文科学研究所)  
チベット今昔

田中和子  
(文学研究科)  
地理学教室に残る  
ヘディン画の模写

松田素二  
(文学研究科)  
探検と異文化の百年

### ヘディンと チベット

Håkan Wahlquist  
(ヘディン財団)  
地図学者の顔と  
芸術家の顔

高本康子  
(北海道大学スラブ  
研究センター)  
近代日本の  
チベット像

白須浄貞  
(広島大学敦煌学  
プロジェクト研究センター)  
20世紀初頭の  
国際政治と日本

今から約一世紀前、1908年末、チベット探検を終えたスウェン・ヘディンが東京地学協会の招きで来日し、京都帝国大学にも学賓として迎えられ、滞在しました。ヘディンが携えてきたチベットの地形・風俗を写真した絵の模写が、文学部地理学教室に残されています。ヘディンはどのようにチベットを描いたのか、なぜ模写が作られたのかに焦点をあてながら、近代の日本の社会と国際情勢ならびにチベットの今昔を探ります。



Sven Hedin  
1865-1952

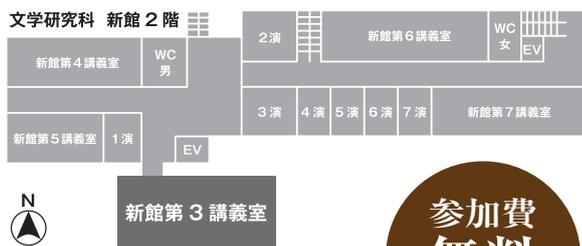
日時

# 2016年 12月3日(土)

## 午後1時半から6時頃

場所

### 京都大学文学部第3講義室 京都市左京区吉田本町



### 参加費 無料

どなたでもご参加  
いただけます